

都市再生整備計画 事後評価シート
結城北西部地区

平成23年3月

茨城県結城市

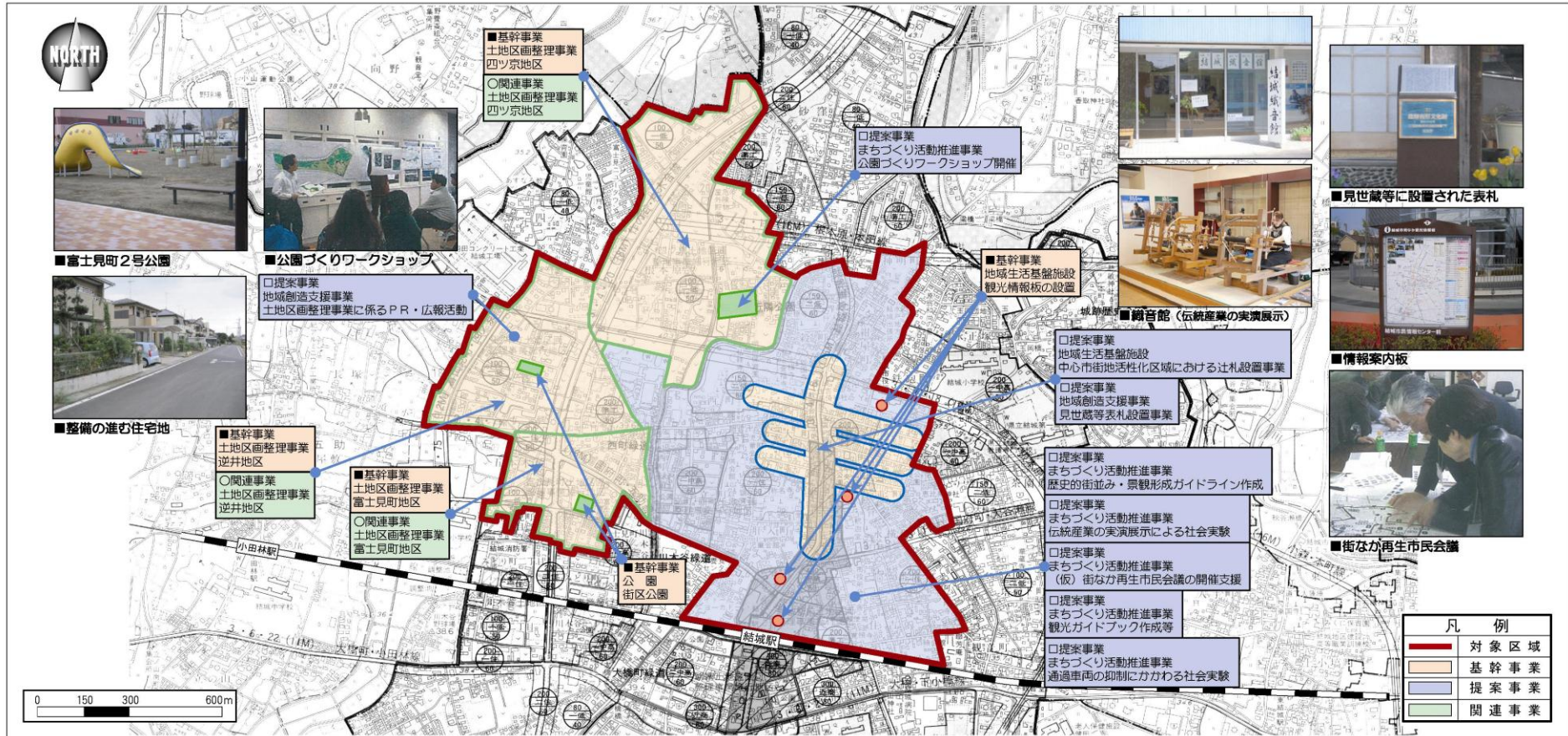
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	結城市		地区名	結城北西部地区			面積	175ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	705.4百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 公園(逆井2号公園、富士見町2号公園)、地域生活基盤施設(観光情報板)、既存建造物活用事業(空見世蔵の活用) 土地区画整理事業(四ツ京土地区画整理事業、富士見町土地区画整理事業、逆井土地区画整理事業)										
		提案事業	地域創造支援事業(中心市街地活性化区域における辻札設置事業、見世蔵等表札設置事業、土地区画整理事業に係るPR・広報活動) まちづくり活動推進事業(歴史的街並み・景観形成ガイドライン作成、(仮称)街なか再生市民会議の開催支援、観光ガイドブック作成等、通過車両抑制等にかかわる社会実験、公園づくりワークショップ支援事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(四ツ京近隣公園)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	まちづくり活動推進事業(市民主体によるイベント開催への支援)	観光協会によるイベント開催の自立運営を促す市の方針により削除			目標3(良好な居住環境を有する住宅地整備と人口の定着化促進)に関連するが、目標の変更は行わない						
	新たに追加した事業	基幹事業	—	—			—						
		提案事業	まちづくり活動推進事業(伝統産業の実演展示による社会実験)	駅前通りへ観光客の流れを誘導するための社会実験を追加			指標1(地区への来訪者数)に関連するが、指標及び数値目標は据え置く						
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	—	—										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	地区への来訪者数	人/年	55,000	H17	58,000	H22	—	84,206	○	あり なし	空見世蔵の活用、織音館における結城紬の実演展示や観光情報板、辻札、見世蔵等表札、観光ガイドブック作成等により、紬のふる里“結城”の魅力が高まり、街のイメージアップや街なか散策を目的とする来訪者の増加に寄与した。	平成24年4月
	指標2	新規住宅着工件数	件	0	H17	50	H22	32	67	○	あり なし	道路・公園等の基盤整備が進み、住宅地としての良好な環境形成が図られたことや保留地PRなどの広報活動により、区画整理地区内への新規住宅着工につながった。	平成23年10月
指標3	地域住民のまちづくり会合数	回/年	0	H17	4	H22	8	4	○	あり なし	街なか再生市民会議が開催され、歴史的街並みや景観形成をはじめ中心市街地の活性化に関する様々な議論が市民により検討・展開されており、地域住民のまちづくり意識が高まった。	平成23年4月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
その他の数値指標1	レンタサイクル貸出回数	台	251	H17	/			328	/	/	観光情報板の整備、辻札設置、見世蔵等表札設置により、来訪者の利便性及び地区の魅力が向上し、結城駅から街なかへ点在する観光施設を移動する手段としてのレンタサイクルが有効に活用された。また、観光ガイドブック掲載によるPRは貸出回数増加につながった。	平成23年4月	
4) 定性的な効果発現状況	・既存の観光資源に空見世蔵の活用や織音館の紬織り実演展示などの新たな観光スポットが加わったことや、案内板・観光ガイドブックなどにより案内サービスが向上されたことにより、紬のふる里“結城”への来訪者増加につながった。組合土地区画整理事業地内の住宅建設やそこを商圏とする商業施設などの立地により、利便性と賑わいのある新しいまちとしての魅力が高まり、歴史ある街なか再生と相乗により北西部全体の活性化に寄与している。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	各事業の進捗の確認と、成果指標の効果発現の中間点検を行い、数値目標の変更や各事業の取り組みについて必要な見直しを行い、合わせて、整備計画の変更を行う。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●		事業を計画的に実施し、効果の発現に努めていく。	
	住民参加プロセス	○街なか再生市民会議の開催(商工観光課) ○公園づくりワークショップの開催(都市計画課)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●			街なか再生市民会議:提言を今後の中心市街地の活性化に生かしていく。 公園づくりワークショップ:四ツ京近隣公園の整備を次期計画で実施していく。
	持続的なまちづくり体制の構築	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—		—	

様式2-2 地区の概要

結城北西部地区(茨城県結城市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
細のふる里“結城”の街なか再生と人口定着の促進 目標1: 街なかの歴史的資源や公的施設の活用・連携による中心市街地の魅力・活気づきの推進 目標2: 安心・安全・快適な歩行環境の整備による生活の場としての市街地の質の向上と、街なか観光の振興 目標3: 街なか再生と合わせた周辺市街地における良好な居住環境を有する住宅地の整備による中心市街地を支える人口の定住化の促進	地区への来訪者数	単位: 人/年	55,000	H17	58,000	H22	84,206	H22
	新規住宅着工件数	単位: 件	0	H17	50	H22	67	H22
	地区住民のまちづくり会合数	単位: 回/年	0	H17	4	H22	4	H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 街なか再生市民会議による意見を取り入れた空見世蔵の活用や織音館での紬織りの実演展示などの活性化に向けた事業により、中心市街地における魅力が高まってきているが、歴史的資源の保全・活用に向けた更なる取り組みが必要である。 観光情報板や辻札、表札の設置、観光ガイドブック作成などにより、案内サービスが整備されたが、だれもが安心して安全に街なかを回遊できる歩行環境の充実を図り、来訪者のリピーターを増やす必要がある。 組合土地区画整理事業などによる基盤整備により住宅建設が促進されたが、地区内には未整備箇所が残されており、事業推進による人口定着化が課題である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 街なか再生市民会議や公園づくりワークショップの経験を生かし、今後も住民と行政の協働によるまちづくりを行う。 歴史的な建造物や街並み・景観の保全・活用に向けた検討と事業の実施を進める。 だれもが楽しく安心して安全に回遊できる歩行環境の充実を図るとともに、災害・防犯対策の強化を進める。 組合土地区画整理事業を推進し、基盤整備を進め、地区への人口定着を図る。